TOSHIBA
Leading Innovation >>>

東芝LED照明器具取扱説明書

保管用

001CA481D

形名	LEET-81501-LD2	（調光用）

明るさタイプ	色温度	適合LEDバー形名	明るさタイプ	色温度	適合LEDバー形名
13,400lmタイプ	5000K	LEEM-81341N	6,400lmタイプ	5000K	LEEM-80641N
	4000K	LEEM-81341W		4000K	LEEM-80641W
	3500K	LEEM-81341WW		3500K	LEEM-80641WW
	3000K	LEEM-81341L		3000K	LEEM-80641L
10,000lmタイプ	5000K	LEEM-81001N	5,000lmタイプ	5000K	LEEM-80501N
	4000K	LEEM-81001W		4000K	LEEM-80501W
	3500K	LEEM-81001WW		3500K	LEEM-80501WW
	3000K	LEEM-81001L		3000K	LEEM-80501L

Order Selection 本取扱説明書は上記形名のOrder Selection（オーダー　セレクション）に対応しております。

このたびは東芝ＬＥＤ照明器具をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

■安全上のご注意

照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられています。
工事が終了しましたら、この取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。
• お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

工事店様へ　　施工上のご注意

⚠ 警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

禁止

• 器具に表示された電源電圧（定格電圧±６％以内）以外で使用しない。（短寿命、火災の原因）
• 器具を改造したり、部品を変更しない。（落下・感電・火災等の原因）
• アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。

• 器具の取り付けは、質量に耐える所に本体表示並びに取扱説明書に従って行う。（器具落下の原因）

必ず実施

• 電源線接続は、確実に挿し込む。（発熱、火災の原因）
• 調光制御装置には必ず適合する機種を組み合せる。（誤動作、火災の原因）
• 器具の取り付けの際は手袋を着用すること。（けがの原因）

⚠ 注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

禁止

• 屋内専用で５℃～３５℃の範囲で使用する。（火災の原因）
• 屋外や軒下、湿気、水気のある場所で使用しない。（絶縁不良、感電の原因）
• この器具は、腐食性ガスが発生する場所では使用しない。（変質、変色、絶縁不良、落下の原因）
• 器具を密閉した空間に使用しないでください。ＬＥＤ短寿命の原因となります。

お客様へ　　使用上のご注意

⚠ 警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

• 器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすいものを近づけたりしない（火災の原因）

禁止

• 器具のすきまなどに針金などを差し込まない。（けがや感電・火災などの原因）
• お手入れの際は、必ず電源を切る（感電の原因）

⚠ 注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

禁止

• 金属部分をクレンザーやたわしでみがかない。（傷、腐食の原因）
• ガソリン、ベンジン、シンナー等の薬品で拭いたり、殺虫剤をかけたりしない。（破損、落下、感電の原因）
• 器具のお手入れは、乾いた柔らかい布か、ぬるま湯または中性洗剤を浸した布をよくしぼってからふく。（メッキ部分は乾いた布でふいてください。）

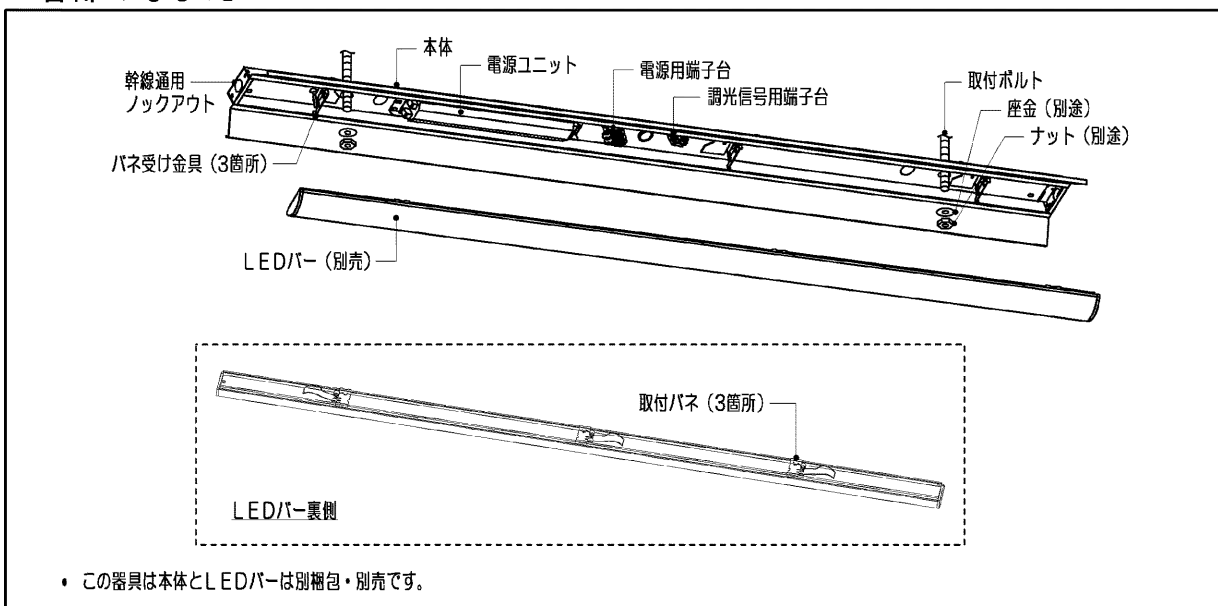
必ず実施

• 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をおすすめします。※使用条件は周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。1年に1回は「安全チェックシート」により自主点検、および定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。（「安全チェックシート」は弊社ホームページに掲載しております。）点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

お願い

• ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場所があります。
• 点灯直後・消灯直後にプラスチックの伸縮によるきしみ音が発生する場合がありますが、故障や異常ではありません。
• ＬＥＤ素子にバラツキがあるため、同じ品番のＬＥＤバーでも光色、明るさが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

■各部のなまえ

• この器具は本体とLEDバーは別梱包・別売です。

■器具の取り付けかた

1 器具の取り付け寸法

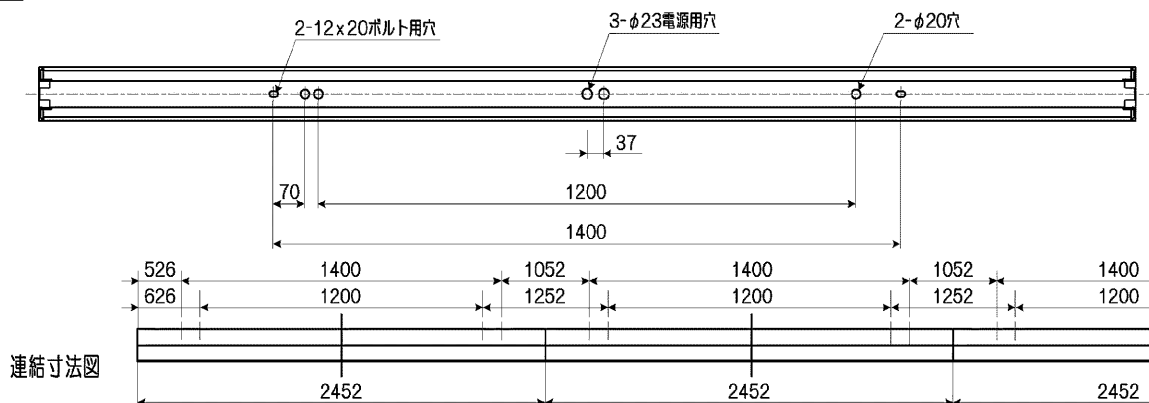
（単位mm）

2-12x20ボルト用穴　3-φ23電源用穴　2-φ20穴

37　70　1200　1400

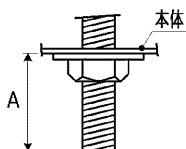
連結寸法図

526 / 626　1400 / 1200　1052 / 1252　1400 / 1200　1052 / 1252　1400 / 1200

2452　2452　2452

2 取付ボルトの器具内寸法

A寸法は、25mmを超えないようにしてください。

本体　A

ボルト用穴　取付ボルト　座金　ナット　第1図

3 本体の取り付けかた

① 本体を取付ボルトにより確実に取り付けてください。（第1図）
（取付けボルトはW3/8またはM10を使用し座金を必ず入れてください。）

不備がありますと、器具落下の原因となります。

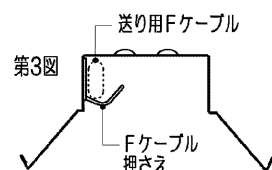
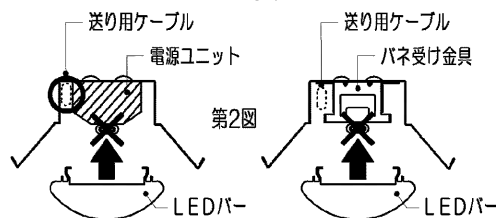
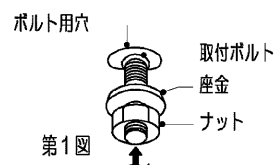
（注）本体施工時に片側の取付ボルトで取り付けた状態を放置しないでください。
本体変形の原因となります。

連結取付　連結金具 C-79（別売）を使用して取り付ける場合

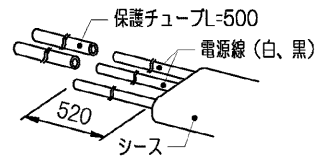
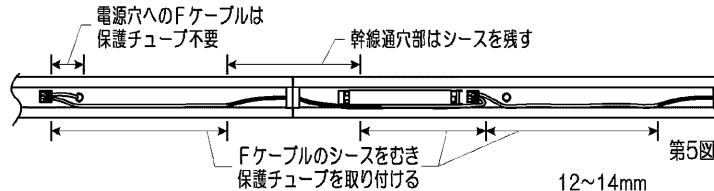
1. 幹線通用ノックアウトをペンチで切り離してください。
2. 連結金具C-79（別売）で本体背面の連結用穴を使用して付属のねじで連結してください。
3. 送り用Fケーブルは、LEDバーとの当たりを防ぐため、電源ユニットおよびバネ受け金具の横にくるよう施工してください。（第2図）
4. 送り用Fケーブルは本体内のFケーブル押さえで固定してください。（第3図）
5. 幹線通用ノックアウトを通す電線は必ずFケーブルのシースを残してください。

吊下げ取付　吊装置（別売）を使用して取り付けてください。

送り用ケーブル　電源ユニット　LEDバー　第2図　送り用ケーブル　バネ受け金具　LEDバー

第3図　送り用Fケーブル　Fケーブル押さえ

■器具の取り付けかた

② 13,400lmタイプ（一般）において、Fケーブルを電源穴から引き込む場合にはFケーブルのシースを170mm皮むきし、電源線（白、黒）にLEDバー同梱の保護チューブを150mmに切断して根元まではめ込んでください。（第4図）
電源線にエコケーブル（EM-EE）を使用する場合は、耐熱チューブを使用しなくても問題ありません。幹線通穴部を通す際は必ずFケーブルのシースを残してください。（第5図）

保護チューブL=500
電源線（白、黒）
520
シース
第4図（器具内送りの場合）

電源穴へのFケーブルは保護チューブ不要
幹線通穴部はシースを残す
Fケーブルのシースをむき保護チューブを取り付ける
第5図

③ 電源線、アース線を電源用端子台に確実に差し込んでください。（第6図）
リリースする場合は、必ずリリースボタンをドライバーで押し込んで線を引き抜いてください。（第7図）
※13,400lmタイプ、10,000lmタイプ、6,400lmタイプ使用時は二次電圧が150Vを超えますので、100V入力でのご使用の場合でもアース工事は確実に行ってください。

不完全な場合とリリースボタン以外を押した場合は、接触不良による発熱、火災、感電の原因となります。

12～14mm
適合電線：ϕ1.6
第6図（単線）ϕ2.0
第7図 マイナスドライバー

表1

明るさタイプ	送り容量（一般）	送り容量（HG）
13,400lm	LEDバー同梱の保護チューブを使用し12A以下	10A以下
10,000lm	14A以下	16A以下
6,400lm	18A以下	―
5,000lm	20A以下	―

電源用端子台の送り容量は表1の通りです。
※LEDバー交換時、指定の送り容量を超える場合は電源配線をやり直してください。
※棒状端子を使用しないでください。

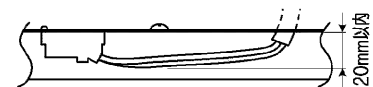
容量を超えると発熱、火災の原因になります。

（注）ドライバーは電源用端子台に垂直に押し込んでください。押し込み後、ドライバーを強く傾けると電源用端子台が破損する場合があります。

調光信号送り線
調光信号用端子台
調光信号線
リリース用ボタン
第8図
適合電線：（CPEV・AE）Φ0.9・ϕ1.2
ストリップ長
8～9

④ 調光信号用端子台に調光信号線を差し込んでください。（第8図）
調光信号線はϕ0.9,ϕ1.2の軟銅単線(CPEV)または警報用電線、AE線(OP線など)をご使用ください。
リリースする場合は、リリースボタンを押して調光線を引き抜いてください。（第8図）

⑤ 電源線の接続後、余分な電源線は電源穴から押し戻してください。たるみがあるとLEDバーが取り付けられない場合があります。（第9図）

不備がありますと、器具落下の原因となります。

押し込む
20mm以内
第9図

■調光制御装置の施工上の注意

下記の調光制御装置をご使用して調光を行うことができます。
調光制御装置と組み合わせてご使用になる場合は次の点にご注意ください。

Ⅰ．ＳＥＳＬをご使用の場合

①SESLは必ず下記に示す製品をご使用ください。
- あかりセンサータイプ：DF-20206XD7(100V～242V用)、DF-20207XD7(100V～242V用)、DF-20204MXD7(100V～242V用)
- あかり＋人感センサータイプ：DF-20206ZD7(100V～242V用)、DF-20207ZD7(100V～242V用)、DF-20204MZD7(100V～242V用)
- パネルタイプ：DF-70403(100V～242V用)

②「電源線(2線)、調光線(2線)」が必要になります。
③電源線は、SESL用と器具用の2系統必要となります。

Ⅱ．コントルクス（コントルクスＰＤ）をご使用の場合

①コントルクスPDは必ず下記に示す製品をご使用ください。
- DF-70170-PD(100V～242V用)

②「電源線(2線)、調光線(2線)」が必要になります。
③コントルクスと照明器具との配線最遠長は200m以下としてください。

調光制御装置との結線図
DF-70170-PD
コントルクス設定スイッチ図

- その他SESL、コントルクスの施工上の注意についてはそれぞれ個別のサービス図面または、取扱説明書をお読みください。
- 器具への結線の際、電源用と調光信号用の端子台を間違わないよう接続してください。「誤結線しますと電源ユニットが壊れます。」
- 調光信号線はϕ0.9,ϕ1.2の軟銅線(CPEV)または警報用信号線(AE線)をご使用ください。

④コントルクスの設定スイッチを図のように操作してください。
コントルクスの設定スイッチ操作を行わない場合、ＬＥＤバー表面の明るさが均一にならないことがありますが性能としては問題ありません。

Ⅲ．各制御装置へ接続する場合の最大接続台数は器具商品図面をご確認ください。

■ＬＥＤバーの取り付けかた・はずしかた

（1）ＬＥＤバーの取り付けかた

① 本体とＬＥＤバーのコネクターの位置を合せ、ＬＥＤバー背面にある取付バネを器具のバネ受け金具に引っ掛け、ＬＥＤバーを本体に吊り下げてください。（第10図）
※コネクターや電線を持ってＬＥＤバーを取り付けないでください。

不備がありますと、器具落下の原因となります。

ＬＥＤバーをひねらないでください。

② コネクター接続の際は必ず電源を切ってから行なってください。
コネクターを確実に接続してください。

③ ＬＥＤバー取付バネ（3箇所）の位置を押し上げ、本体に確実に取り付けてください。（第11図）
天井が歪んでいると正常に取り付かないことがあります。
※余った電線はＬＥＤバーを取り付ける際に挟み込まないよう注意してください。
※コネクターをＬＥＤバーや本体内の部品で挟まないよう注意してください。
本体とＬＥＤバーの間に隙間がある場合、コネクターを挟んでいないことを確認してください。

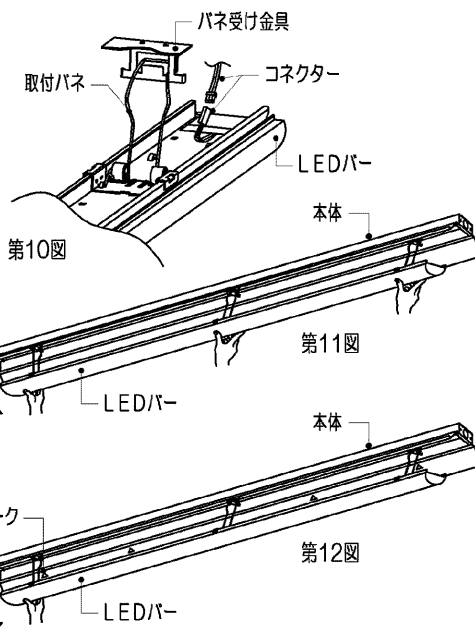
不備がありますと、不点灯や発熱、火災の原因となります。

（2）ＬＥＤバーのはずしかた

① 反射板の∇マークを目印に、手でＬＥＤバーを引き下げてください。（第12図）

② 取付バネを本体のバネ受け金具に引っ掛け、ＬＥＤバーを器具に吊り下げてください。

③ コネクターをはずしてください。

④ ＬＥＤバーの取付バネを、本体のバネ受け金具から取りはずしてください。

■基本特性（周囲温度（25℃時）

一般タイプ	13,400lmタイプ		10,000lmタイプ		6,400lmタイプ		5,000lmタイプ	
入力電圧（V）	200	242	200	242	200	242	200	242
入力電流（A）	0.440	0.370	0.330	0.279	0.229	0.195	0.177	0.151
消費電力（W）	86.0	86.0	64.0	64.0	43.5	43.5	33.0	33.0

HGタイプ	13,400lmタイプ		10,000lmタイプ	
入力電圧（V）	200	242	200	242
入力電流（A）	0.387	0.327	0.293	0.249
消費電力（W）	75.5	75.5	56.5	56.5

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048（通話料：無料）
受付時間：365日　9:00～20:00
携帯電話・PHSなど 046-862-2772（通話料：有料）
FAX 0570-000-661（通信料：有料）

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

日本国内専用
Use only in Japan

保証の免責事項

1．保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(2)お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
(4)車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
(5)施工上の不備に起因する故障や不具合
(6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
(7)日本国内以外での使用による故障及び損傷
2．離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

保証について

• 保証期間は、**商品お買い上げ日より1年間です。** 但し、LED器具の点灯装置、蛍光灯器具・HID器具の安定器(インバータバラスト含む)については3年間です。
• セード、グローブ、リモコン送信器は保証対象とし、ランプ、点灯管、電池などの消耗品は対象外とさせていただきます。
• 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
• 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

東芝ライテック株式会社　施設・屋外照明事業部 施設照明販売企画担当 〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34 TEL (044) 331-7556 FAX (044) 548-9604

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

001CA481D